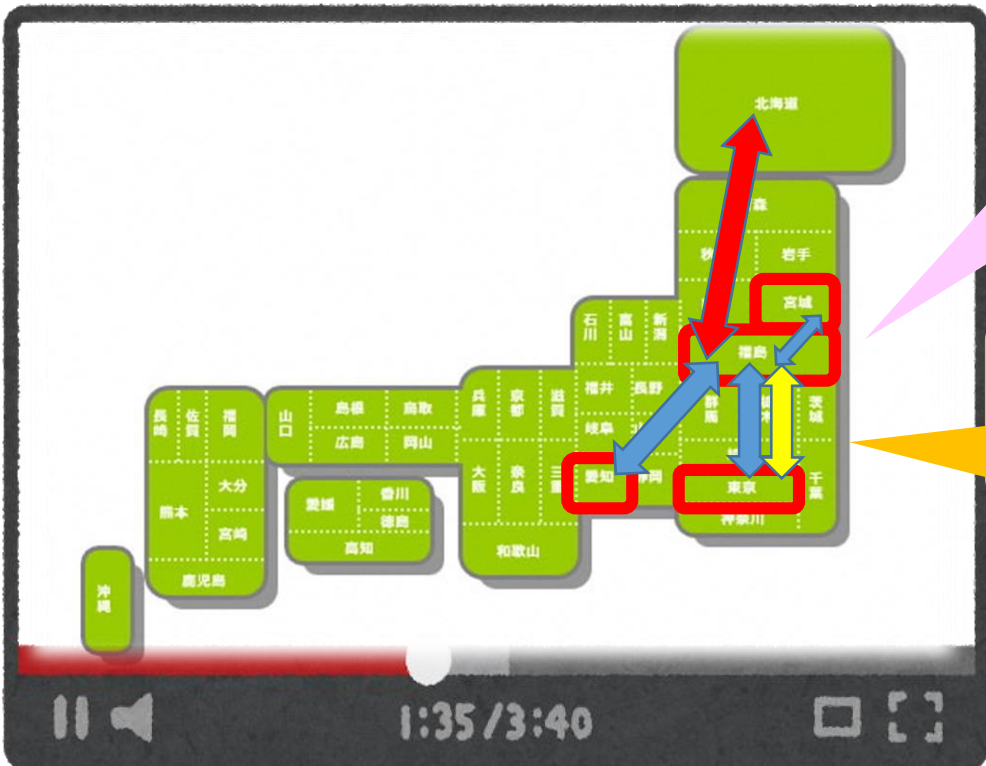




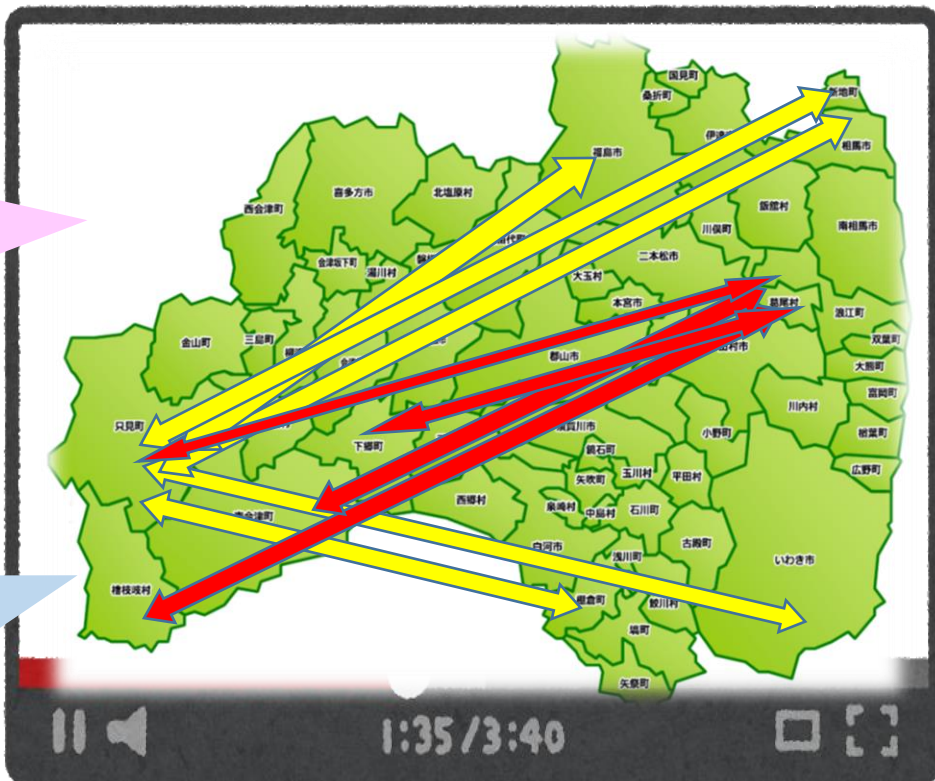
オンラインの実施について



①明和小学校のコアティーチャー授業研究会（東京都・いわき市・福島市・新地町・南相馬市・棚倉町）からの参加がありました。

②海洋教育全体協議会（東京都・宮城県・愛知県）からの参加がありました。

③葛尾村の授業研究会（檜枝岐村・南会津町・下郷町・只見町の小中学校）から参加しました。



南会津教育事務所域内で開催した【オンラインの取組】の様子をお伝えします。

①只見町立明和小学校において「算数コアティーチャー授業研究会・事後研究会・学力調査官による講演会」を開催しました。

②只見町において「ESD・海洋教育推進協議会」を開催しました。

③葛尾村において開催された「避難地域12市町村における少人数教育に対応した教授法に関する教員研修」へ域内の小中学校の担当者が参加しました。

神奈川県と同じ面積をもつ南会津。広い南会津で行ったオンラインでの実践をとおり、『つながることのできる素晴らしさ』を感じることができました。今後もオンラインを活用して学びの多い研修を行ってまいります。



①オンラインで発信したコアティーチャー授業研究会 只見町立明和小学校



たくさんの先生方が授業を見ていますが、他にもいるのです。

他地域の先生方は、このタブレットからの映像を視聴しました。

身を乗り出して、「はい！」いつもと変わらず主体的に自分の考えを伝える姿をオンラインで配信しました。



授業後の事後研究会。多くの先生方に参加していただきました。この様子ももちろん、オンラインでお伝えしました。

第2回算数・数学科コアティーチャーによる授業研究会 Vol. 1「授業の様子」(令和2年9月1日)

写真は、普段と変わらない研究授業の風景に見えます。でも…。

明和小学校や町内・域内の教職員だけでなく、リモートによる授業参観者もいます。国立教育政策所教育課程研究センター研究開発部学力調査官の稲垣悦子先生をはじめ、各教育事務所の指導主事やコアティーチャーなど、県内の多くの先生方が、それぞれの勤務している場所から参加しました。

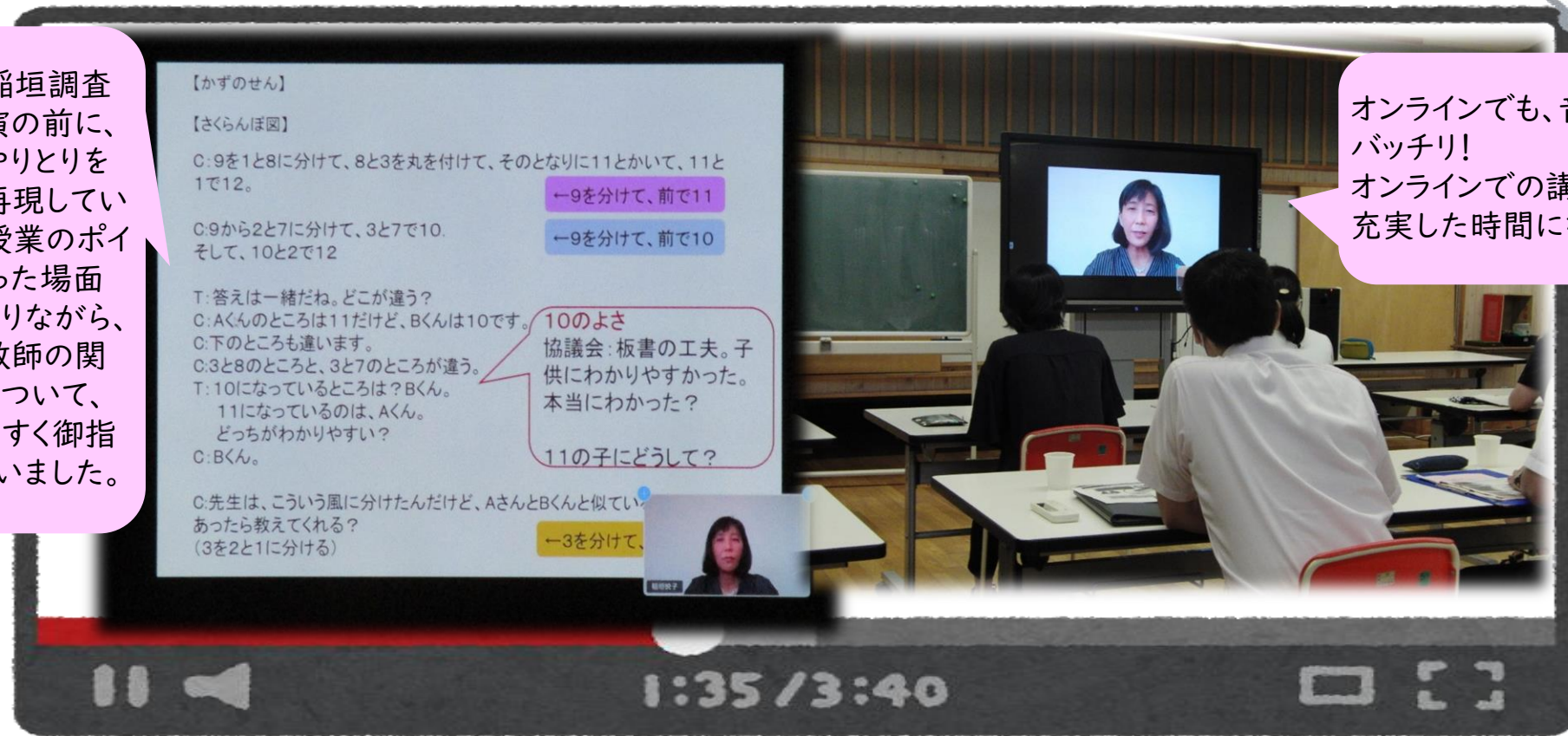
事後研究会もタブレットで撮影しながら配信しました。子供たちの授業の様子、先生方の話合いの様子から、オンラインで視聴していた先生方も充実した研修を行うことができました。



①学力調査官によるオンライン講演会 只見町立明和小学校



なんと!稲垣調査官は講演の前に、授業のやりとりを文章で再現していました!授業のポイントとなった場面を振り返りながら、発問や教師の関わり方について、分かりやすく御指導くださいました。



オンラインでも、音声は明瞭、画像もバッチリ!
オンラインでの講演でしたが、とても充実した時間になりました。

第2回算数・数学科コアティーチャーによる授業研究会 Vol. 2「講演の様子」(令和2年9月1日)

写真は、稲垣悦子調査官によるオンライン講演「『全国学力・学習状況調査』を踏まえた学習指導の改善・充実」の様子です。講演会では、調査官の画面を共有していただきながらお話を伺うことができました。

「オンライン講演会」は、全国各地にいる素晴らしい講師の方々からお話を伺えるだけでなく、参加者も自校から気軽に参加することができます。コロナ禍での対応でしたが、通常時にも活用できる講演会の方法であると感じました。



②オンラインによる只見町ESD・海洋教育推進協議会（只見町教育委員会・只見町内小中高等学校）



各校の実践について意見を交流し、成果や課題について共有することができました。

東京大学大学院の研究員の先生方に足を運んでいただくことなく、只見町のこれまでの海洋教育の成果と今後の見通しについてご指導いただきました。



第2回只見町ESD・海洋教育推進協議会の様子
(令和2年7月16日)

町内の小学校・中学校・高等学校の校長及び各校の実務担当者が集まり、各校におけるESD・海洋教育の進捗状況、成果、課題について交流しました。

今年度も東京大学大学院附属海洋教育センターと連携して海洋教育を進めています。当初来町予定であった及川主幹研究員、加藤特任研究員、嵩倉特任研究員にはオンラインで参加いただき、互いに意見を交流し合ったり、ご指導・助言をいただくことができました。

今後も教職員オンライン学習会や児童生徒のオンラインサミット等への参加など、新しい様式での研修・学習の在り方を模索していきます。



③避難地域12市町村における少人数教育に対応した教授法に関する教員研修(域内各小・中学校)



少人数が避けられない地区であることを受け止め、少人数を生かした教育活動を考え、実践していかなければならないと思いました。



カッテレによる学習も視聴しました!

本校で取り組んでいる複式学級の指導の方向性が間違っていないと改めて自信をもつことができました。

参加した域内小・中学校の先生方の感想です!

「複式学級での学びの可視化」「子供が見通しをもてる可視化の工夫」「板書と小ボードの活用」「黒板配置の工夫」「間接指導時の工夫」「言語活動の充実を目指した掲示の工夫」「複式学級における授業デザイン」「へき地・複式・小規模校教育の今後の可能性」など、日々の授業に活かせるように努めていきたいです。

教育課程の編成や教師の指導方法、ICTの活用方法など葛尾小中学校の事例を参考にさせていただきたいと思います。

複式学級・少人数であるからこそ、ICTの活用、工夫が大切になってくると感じました。スキルを高めていきたいです。

少人数であることをメリットとして捉えた教育活動や、少人数ならではの取組を工夫することを、大きな学校の教育の場にも生かしていこうという価値観の転換が求められているということを知ることができました。

「葛尾村立葛尾中学校」の取組、『個人カルテの入力』・『カンファレンス』・『実践のサイクル』が素晴らしいと思いました。

少人数で育った子供たちの特徴として、発言力の高さと協調性の高さがあるという話を聞いて、共感できました。

低学年からの学習ルールの積み重ねが重要だということ、へき地出身者に見られる具体的な姿のよさも分かり、勉強になりました。

ICTの活用については、今後ネットを利用したコンテンツの作成や提供が増えてくると考えられます。今回の実践には留意すべきポイントや工夫が明示され、ノウハウを得るにあたっては大変役に立つものでした。

「避難地域12市町村における少人数教育に対応した教授法に関する教員研修(南会津教育事務所内)」(令和2年9月29日)

南会津域内も少人数による教育活動が行われています。今回の研修会では、域内の各小・中学校の希望者がオンラインで視聴しました。北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター副センター長川前あゆみ教授の講演を聞き、自校の教育活動に生かせる実践を学んだり、少人数教育のよさの再確認をしたりすることができました。また葛尾小学校と葛尾中学校の実践発表ではICTを生かした実践の紹介があり、大変参考になりました。



ESD・海洋教育公開授業研究会の案内 朝日小学校

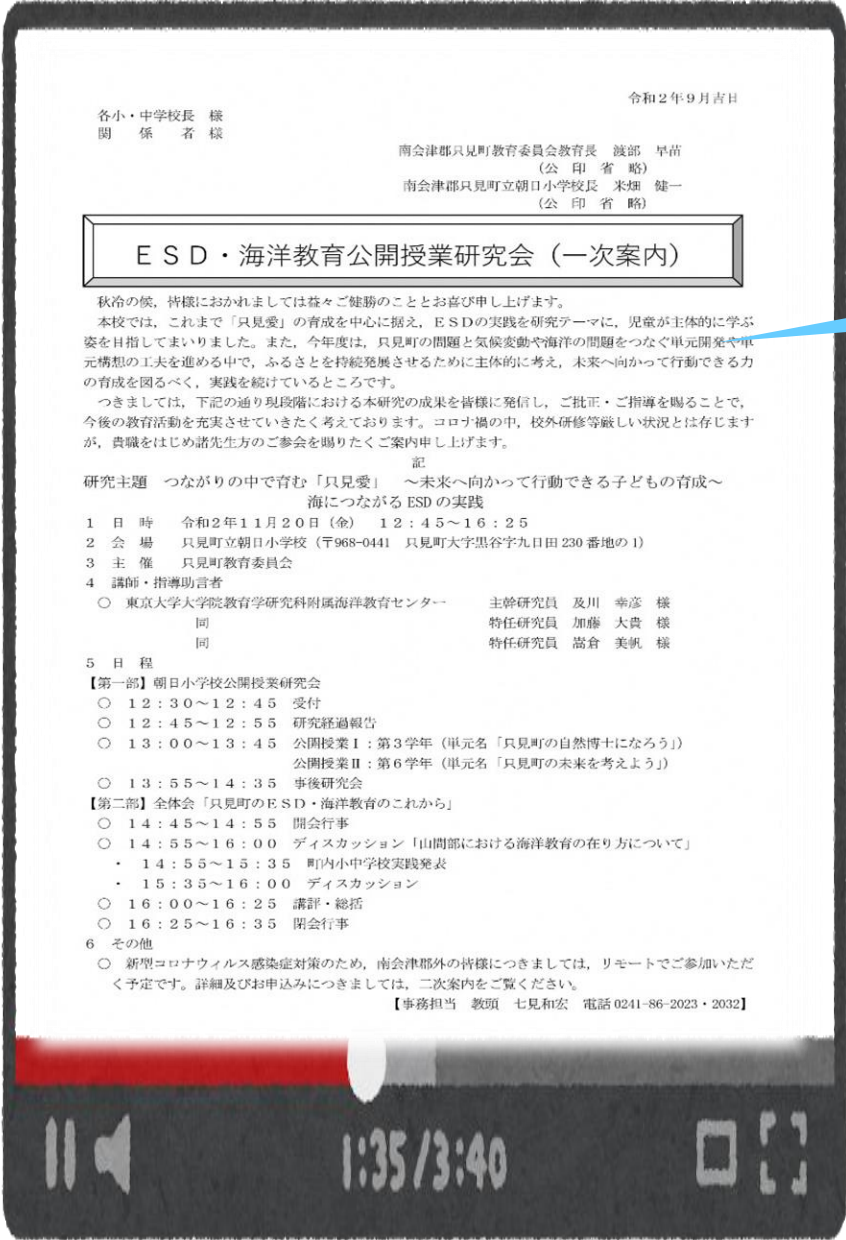


東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センターより、及川幸彦主幹研究員、加藤大貴特任研究員、嵩倉美帆特任研究員を講師としてお招きし、ご指導いただきます。

リモートで開催します。

ESD・海洋教育公開授業研究会の案内 令和2年11月20日（金）

11月20日（金）に只見町立朝日小学校にて「ESD・海洋教育授業研究会が開催されます。只見町では、町教育委員会の協力の下、町内全小中学校でESD・海洋教育を進めています。今年度は朝日小学校が「海につながるESDの実践」を授業公開します。第二部の全体会では、「只見町のESD・海洋教育のこれから」と題して、各学校の実践発表やディスカッションを予定しています。新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、南会津郡外の方はリモートでの参加となりますが、ぜひ御参加ください。（お問い合わせ先 只見町立朝日小学校）



各小・中学校長 様
関係者 様
令和2年9月吉日
南会津郡只見町教育委員会教育長 渡部 早苗
(公 印 省 略)
南会津郡只見町立朝日小学校長 米畑 健一
(公 印 省 略)

ESD・海洋教育公開授業研究会（一次案内）

秋冷の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
本校では、これまで「只見愛」の育成を中心に据え、ESDの実践を研究テーマに、児童が主体的に学ぶ姿を目指してまいりました。また、今年度は、只見町の問題と気候変動や海洋の問題をつなぐ単元開発や單元構想の工夫を進める中で、ふるさとを持続発展させるために主体的に考え、未来へ向かって行動できる力の育成を図るべく、実践を続けているところです。
つきましては、下記の通り現段階における本研究の成果を皆様に発信し、ご批評・ご指導を賜ることで、今後の教育活動を充実させていきたいと考えております。コロナ禍の中、校外研修等難しい状況とは存じますが、貴職をはじめ諸先生方のご参会を賜りたくご案内申し上げます。

記
研究主題 つながりの中で育む「只見愛」～未来へ向かって行動できる子どもの育成～
海につながるESDの実践

- 1 日 時 令和2年11月20日（金） 12:45～16:25
- 2 会 場 只見町立朝日小学校（〒968-0441 只見町大字黒谷字九日田230番地の1）
- 3 主 催 只見町教育委員会
- 4 講師・指導助言者
○ 東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター 主幹研究員 及川 幸彦 様
同 特任研究員 加藤 大貴 様
同 特任研究員 嵩倉 美帆 様

- 5 日 程
【第一部】朝日小学校公開授業研究会
○ 12:30～12:45 受付
○ 12:45～12:55 研究経過報告
○ 13:00～13:45 公開授業Ⅰ：第3学年（単元名「只見町の自然博士になろう」）
公開授業Ⅱ：第6学年（単元名「只見町の未来を考えよう」）
○ 13:55～14:35 事後研究会
【第二部】全体会「只見町のESD・海洋教育のこれから」
○ 14:45～14:55 開会行事
○ 14:55～16:00 ディスカッション「山間部における海洋教育の在り方について」
・ 14:55～15:35 町内小中学校実践発表
・ 15:35～16:00 ディスカッション
○ 16:00～16:25 講評・総括
○ 16:25～16:35 閉会行事
- 6 その他
○ 新型コロナウイルス感染症対策のため、南会津郡外の皆様につきましては、リモートでご参加いただく予定です。詳細及びお申込みにつきましては、二次案内をご覧ください。
【事務担当 教頭 七見和宏 電話 0241-86-2023・2032】

